

日時・場所： 令和4年10月6日（木）13時30分～15時30分 教授会室
出席者(対面)： 廣川理事長、宮川副理事長、山根理事、安原理事、高橋理事
小倉委員、北川委員
出席者(ウェブ)： 石井委員、木村委員、塚本委員
欠席者： 山崎委員
事務局： 八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、川分学生・就職支援課長、
郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、出口高等専門学校開設準備室長、
寺村経営企画課長、西山課長補佐、西村主任主事、岡主事

※今回の令和4年度第3回経営協議会より、出席は対面とウェブの両方を可能にした。

【報告事項】 議事の内容により、報告事項から先に行われた。

(1) 「令和の時代の滋賀の高専」基本構想に向けた中間報告

出口高等専門学校開設準備室長より、資料に基づき説明があった。

〔主な質疑・意見等〕

- ・ 滋賀らしさというところで、環境や滋賀の水、エネルギーのことなどが文章の中に見えてきたらいいと思う。産業においても、廃棄が課題になってきていると思うので、新たな学問でゴミをエネルギーに変えるというようなことが見えるとよい。
→カリキュラムに関して、現時点では事務方で検討しており、大きな方向性しか決まっていない。今後、実際の教員が入り、詳細な検討を行っていくことになる。

(2) 地方公務員等共済組合法の改正に伴う就業規則の改正について

事前に委員の方に書面審査を行っており、山田総務課長より、資料に基づき報告があった。

(3) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正等に伴う育児休業規程等の改正について

事前に委員の方に書面審査を行っており、山田総務課長より、資料に基づき報告があった。

(4) 新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対応について

宮川副理事長より、資料に基づき説明があった。

(5) 滋賀県公立大学法人評価委員会の令和3事業年度における業務の実績および第3期中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績に関する評価結果について

安原研究・評価担当理事より、資料に基づき説明があった。

〔主な質疑・意見等〕

- ・ 今後の取り組みを期待する事項の中で、大学発ベンチャー制度に関する取り組みのところで、今後も経済産業界との連携や大学外とのコミュニケーションを活性化させるようなことを考えているか？
→ 学生の育成に当たっては、副専攻でソーシャル・アントレプレナーコースを設け、起業家的精神を養うようなプログラムを行っている。その中で、県内の中小企業の経営者の方を講師やアドバイザーとして招き、学生に対して助言をいただくなどしている。
- ・ 特筆すべき事項において、大学院課程の充実で、県内の看護系大学の中で特に特徴が出ていると思うが、それぞれの定員と実際の修了人数がわかれば教えてほしい。
→ 今は詳しい数字がわからないので、後日説明させていただく。

【審議事項】（廣川理事長、議長を宮川副理事長に一任して退室）

（1）経営協議会からの理事長候補者の推薦について

寺村経営企画課長から推薦の状況について説明があり、経営協議会委員から推薦のあった高橋健太郎氏、山根浩二氏の2名について推薦書に基づき審議し、候補者それぞれに対して、推薦を無記名投票により決することとされた。

（山根理事、被推薦者のため退室）

投票の結果、山根浩二氏を推薦することとなった。

【その他】

（1）次回以降の経営協議会開催について

寺村経営企画課長より、資料に基づき連絡があった。